

令和5年度 福島県立相馬農業高等学校 学校経営・運営ビジョンに関する意識調査（第1回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 1		<教務部>	
	生徒	保護者	教員
	先生方はわかりやすい授業の工夫をしている。	-	あなたは授業の工夫改善に努めている。
結果	教員	保護者	生徒
	A, 51%	B, 47%	C, 0% D, 2%
	A, 44%	B, 48%	C, 7% D, 0%
原因及び反省	○ICT活用講習会等への教員の参加数も増え、教員間で積極的に情報共有を図っていることが功を奏しているのではないか。 ○教員は生徒に合わせた学習内容や学習進度を心がけていると思われるが、さらなる対応が求められているのではないか。		
	○授業時間を確保し、継続的な学びを大切にする。		
改善策			

意識調査No. 2		<教務部>	
	生徒	保護者	教員
	あなたは、基礎学力がついてきたと思う。	お子さんは、基礎学力がついてきたと思う。	生徒は、基礎学力がついてきた。
結果	教員	保護者	生徒
	A, 7%	B, 58%	C, 30% D, 5%
	A, 18%	B, 57%	C, 22% D, 2%
	A, 28%	B, 57%	C, 15% D, 1%
原因及び反省	○生徒の評価が下がっているが、実際には到達度テストで昨年度よりも国数英の点数は伸びている。生徒のなかには、自分の学力を何で測れば良いのかわからないという者もいるのではないか。 ○生徒に合わせた評価により、生徒が自分の学習に自信を持てるようになってきている。一方、教員側から見ると、成長は感じられるが、十分とは言えないと評価しているのではないか。		
	○自分の学力を客観的に測るための指針として、到達度テストを認知させていくため、リクルート社と連携し生徒の振り返り会を計画する。		
改善策			

令和5年度 福島県立相馬農業高等学校 学校経営・運営ビジョンに関する意識調査（第1回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 3		<教務部>	
	生徒	保護者	教員
	あなたは、定期的に家庭で学習に取り組んでいる。	お子さんは、定期的に家庭で学習に取り組んでいる。	あなたは、定期的に家庭で学習できる指導をしている。
結果	教員	A, 14%	B, 53%
	保護者	A, 15%	B, 39%
	生徒	A, 12%	B, 33%
		C, 48%	D, 7%
原因及び反省	<p>○スタディサプリを活用する場面が増えたため、家庭でのスタディサプリ（週末課題等）の取組状況も良好であり、その結果、Dの生徒が減り、Cの生徒が増えたのではないかと考えられる。しかし、スタディサプリの運用に関わる教員が固定化してしまっている傾向にあるため、教員の評価は下がったのだと考えられる。</p>		
改善策	<p>○スタディサプリ以外にも、各教科で定期的に家庭学習に取り組むことができる課題等を設定し、主体性を育む。 ○家庭での学習状況を保護者に知らせ、協力を求める。</p>		

意識調査No. 4		<生徒指導部・保健部>	
	生徒	保護者	教員
	あなたは、遅刻・欠席・早退をしないように心がけている。	お子さんが遅刻・欠席・早退をしないように努めている。	生徒が遅刻・欠席・早退をしないように日頃から指導している。
結果	教員	A, 47%	B, 44%
	保護者	A, 73%	B, 22%
	生徒	A, 65%	B, 28%
		C, 7%	D, 2%
原因及び反省	<p>○朝の通学の遅刻は昨年度よりも減少している。 ○授業への遅刻が多く感じられ、授業への取り組み状況が不十分な生徒も見受けられる。</p>		
改善策	<p>○授業の遅刻に対し、教務や家庭との連携を図り、学期ごとの指導等を行っていただければと考える。</p>		

令和5年度 福島県立相馬農業高等学校 学校経営・運営ビジョンに関する意識調査（第1回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 5		＜生徒指導部＞	
	生徒	保護者	教員
	あなたは、進路を見すえた服装・頭髪など、自らの身だしなみを整えている。	学校は、進路を見すえた服装・頭髪など、生徒自らが身だしなみを整えられる指導を適切に行っている。	学校は、進路を見すえた服装・頭髪など、生徒自らが身だしなみを整えられる指導を適切に行っている。
結果	教員	A, 40%	B, 49%
	保護者	A, 57%	B, 37%
	生徒	A, 50%	B, 44%
原因及び反省	○生徒、保護者とも意識が高まっている。 ○一部の生徒が意識していないのではないかと考えられる。		
改善策	○進路を見据えた啓蒙活動の充実を図りながら、粘り強く指導していく。		

意識調査No. 6		＜生徒指導部・農業部＞	
	生徒	保護者	教員
	あなたは、部活動や農業クラブ、伝統芸能継承活動に積極的に参加して活動している。	お子さんは、部活動や農業クラブ、伝統芸能継承活動に積極的に参加して活動している。	あなたは、生徒が部活動や農業クラブ、伝統芸能継承活動に積極的に参加して活動するように指導している。
結果	教員	A, 40%	B, 49%
	保護者	A, 54%	B, 32%
	生徒	A, 44%	B, 37%
原因及び反省	○教員と生徒、保護者の捉え方にギャップがある。 ○放課後にアルバイトを実施している生徒が増加している。		
改善策	○進路を見据えた啓蒙活動の充実を図りながら、粘り強く指導していく。		

令和5年度 福島県立相馬農業高等学校 学校経営・運営ビジョンに関する意識調査（第1回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 7		<生徒指導部・保健部>		
		生徒	保護者	教員
		あなたは、高校生活をとおして以前より自信が持てるようになった。	お子さんは、高校生活をとおして以前より自信を持つようになった。	あなたは、生徒が学校生活をとおして以前より自信が持てるような指導に努めている。
結果	教員	A, 44%	B, 51%	C, 2% D, 2%
	保護者	A, 48%	B, 40%	C, 11% D, 1%
	生徒	A, 41%	B, 41%	C, 15% D, 2%
原因及び反省	○数値的には高い傾向にあるが、生徒においては自信がないと答えているものが多少いる。			
改善策	○2学期に行われる、芸能運動会や球技大会など各種行事を通して、意識を高めていきたい。			

意識調査No. 8		<進路指導部>		
		生徒	保護者	教員
		学校は、進路に関する情報を十分に提供している。	学校からの進路情報を参考に、お子さんと進路に関する話をしている。	学校は、進路に関する情報を生徒・保護者に十分に提供している。
結果	教員	A, 28%	B, 58%	C, 12% D, 2% 無回答0%
	保護者	A, 34%	B, 45%	C, 19% D, 2% 無回答1%
	生徒	A, 44%	B, 41%	C, 14% D, 0%
原因及び反省	○保護者と生徒の「C（あまり当てはまらない）」が若干多い。親子との会話が少ないと考えられる。特に今の時期は1、2年生で進路に関する会話は少ないと思われる。また、進路に関しては子供に全て任せている保護者が多くなった表れとも思われる。 ○主な進路情報は「進路だより」に記されているが、それが保護者の手元に届いていないことが考えられる。			
改善策	○「進路だより」に関しては、生徒に配布する際、担任が内容を説明したうえで配る。また、三者面談で保護者に確実に手渡したり、通信簿送付の際に同封したりする。			

令和5年度 福島県立相馬農業高等学校 学校経営・運営ビジョンに関する意識調査（第1回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 9		<進路指導部>		
		生徒	保護者	教員
		あなたは、進路行事をとおして、進路についてより深く考えるようになった。	進路行事をとおして、お子さんと進路について話す機会が増えた。	生徒は、進路行事をとおして、進路についてより深く考えるようになった。
結果	教員	A, 28%	B, 56%	C, 14% D, 2%
	保護者	A, 34%	B, 42%	C, 21% D, 2%
	生徒	A, 41%	B, 46%	C, 12% D, 1%
原因及び反省	<p>○保護者の「C（あまり当てはまらない）」の割合が、教員・生徒より若干多かった。保護者は教員・生徒とは違い、生徒から渡される「進路だより」と「学校ホームページ」により進路行事のを知るので、周知がされない場合もあったと考えられる。</p> <p>○1学期は、1年次と2年次の主な進路行事を行っていない。そのことが「C（あまり当てはまらない）」が若干多い原因と思われる。</p>			
改善策	<p>○保護者への進路行事の周知のため、生徒に配った「進路だより」を確実に渡すことの指導をするとともに、三者面談や通信簿送付の際に同封して確実に保護者に届ける。</p>			

意識調査No. 10		<保健部・総務部・農業部>		
		生徒	保護者	教員
		学校は、安全な学習環境づくりに取り組んでいる。	学校は、安全な学習環境づくりに取り組んでいる。	あなたは、安全な学習環境づくりの指導に努めている。
結果	教員	A, 44%	B, 53%	C, 2% D, 0%
	保護者	A, 49%	B, 46%	C, 4% D, 1%
	生徒	A, 45%	B, 44%	C, 9% D, 2%
原因及び反省	<p>○学校生活全般で安全対策に取り組んでいる。</p>			
改善策	<p>○熱中症対策を含めた学習環境の整備を今後も続けていく。</p> <p>○学校の老朽化に伴う危険箇所の安全点検を行う必要がある。</p>			

令和5年度 福島県立相馬農業高等学校 学校経営・運営ビジョンに関する意識調査（第1回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 11		＜総務部・農業部＞																									
	生徒	保護者	教員																								
	学校は、ホームページ掲載やメール配信などの情報発信に努めている。	学校は、ホームページの掲載やメール配信などの情報発信に努めている。	あなたは、ホームページ掲載に努め、メール配信を活用している。																								
結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>調査結果のデータ</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>A (%)</th> <th>B (%)</th> <th>C (%)</th> <th>D (%)</th> <th>無回答 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員</td> <td>19%</td> <td>30%</td> <td>42%</td> <td>7%</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>45%</td> <td>46%</td> <td>7%</td> <td>1%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>34%</td> <td>43%</td> <td>21%</td> <td>2%</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table>			対象者	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	無回答 (%)	教員	19%	30%	42%	7%	2%	保護者	45%	46%	7%	1%	1%	生徒	34%	43%	21%	2%	1%
	対象者	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	無回答 (%)																					
	教員	19%	30%	42%	7%	2%																					
保護者	45%	46%	7%	1%	1%																						
生徒	34%	43%	21%	2%	1%																						
原因及び反省	<p>○保護者は本校のホームページやメール配信をよく利用している。</p> <p>○教員の活用が低く、情報発信をする部署が限られている。</p>																										
	改善策	<p>○各部、各学年で主催する生徒の活動については、予め担当者を決め、情報を発信する。</p> <p>○一斉メールについては、緊急連絡だけでなく、各部、各学年で周知したいことを発信する。</p>																									